

松野尼御前御返事

弘安二年一月二一日 五八歳

と申す鳥となれり。日本国の人にはにくまれ候ひぬ。みちふみわくる人も候はぬに、を
もいよらせ給ひての御心ざし石の中の火のごとし、火の中の蓮のごとし。ありがたく候。
ありがたく候。恐々謹言。

正月廿一日

日 蓮 花 押

松 の ㄋ 尼 御 前 御 返 事